

新型コロナウイルスと災害9

■避難の実態5

このシリーズでは、中川と相川の氾濫、床上浸水、大雨特別警報を想定しています。そのような状況にならなくても、台風接近のときは、これまでの準備については、「訓練」だとおぼえて、年に一度はやっておきましょう。いざというとき、十分な準備ができるかどうかはおわ



りです。表佐に台風が接近、あるいは直撃しそうな半日前には、台風の規模・勢力によつて、表佐がどうか、なるかは、ある程度予想ができます。避難する必要のない場合もあるでしょう。しかし、訓練だと思つて一度は避難場所を避難にしてみよう。避難するのにどんな物が必要か、避難場所や時間、あるいは一晩過ごすことは貴重な体験になります。「たぶん大丈夫だろう」ではなく、「危ないかもしれない」と思つて行動することが大切です。この時期は、準備の時期

ではありません。避難に向けての行動の時期です。そのために必要な情報を得ます。その一つに「岐阜県公式防災アカウント」があります。(この欄のQRコードを読み取ってください) 避難を決定する一つのタイミングは「大雨・洪水警報」です。「警戒レベル3」にあたり、「避難準備・高齢者等避難開始」になります。それほどたいした雨ではないかもしれませんが、そんなときは、どの程度の雨雲がどこへ向かっているのかを確かめましょう。



岐阜県_公式防災アカウント

このコロナ禍で、施設への慰問はままならなくなりました。そこで今年も、演奏をビデオで「配達」することにしました。施設の人たちも大喜びで、60G&Hの人たちも発表の機会が得られて、練習にも熱が入ったようです。

行事・講座・教室名	実施日	時間	場所
子ども教室	3月6日(土)	中止	
ホテルの幼虫放流	3月6日(土)	13:30~14:30	共栄ハリヨの池
ダンボールコンポスト講習会	3月8日(月)	13:30~14:30	表佐まちセン
交通安全教室	3月13日(土)	中止	
園芸教室	3月14日(日)	13:30~15:30	表佐まちセン他
いきいきふれあいサロン	3月18日(木)	10:00~11:30	表佐まちセン

3・4月の行事・講座			
新型コロナウイルスの感染状況によって、延期・縮小・中止・開催方法変更の場合があります。その場合には、回覧やホームページ等でお知らせします。			
いきいきふれあいサロン 内容未定 3月の回覧でお知らせします			
4月22日(木)	10:00~11:30	表佐まちセン	
表佐まちづくり協議会総会 事業報告、決算、事業計画等			
4月24日(土)	19:00~20:00	表佐まちセン	

つながる 続ける サークル活動 60G&H

1月18日(月)60G&Hの活動が、大垣ケーブルテレビの取材を受けました。このサークルはギターとハーモニカの演奏を楽しんでいるサ

3・4月の休館日	
3月	2日(火)
	9日(火)
	16日(火)
	23日(火)
	30日(火)
4月	6日(火)
	13日(火)
	20日(火)
	27日(火)
	30日(金)



表佐まちづくり協議会

表佐まち協だより

まちづくり

2021年3月1日
表佐まちづくり協議会
垂井町表佐 1723-1
Tel・Fax22-1011
Mail:osakou@town.tarui.lg.jp
広報部会



中面は小学生のがんばり特集



まち協ホームページQRコード

次世代を担う子供たちを育む

表佐地区青少年健全育成地区民会議 会長 桑原良樹

「残念、中止」。2月に開催予定であった青少年健全育成地区民大会は、従来とは違った形式で開催し安全安心の手筈を整えていましたが、再度のコロナ緊急事態宣言で中止せざるを得なくなりました。多くの行事が中止や延期となるなか、「今度こそっ」と意気込んでいた矢先で断腸の思いです。

さて、今日日本では、コンピュータやゲーム機、携帯電話やスマホなど、ITの発達で、青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。特に情報化社会の進展に伴い、友達同士の遊びや人との接点が減少する反面、いじめやひきこもり、不登校などが増加しています。そのようななか青少年健全育成地区民会議は、子ども達の健やかな成長と社会的自立を実現するために、表佐地区民の総意を結集して青少年の健全な育成を図ってまいりました。

「ちさと子ども教室」などで青少年の社会性を育み、「盆踊り」や「表佐祭り」の役割で非行防止に努め、「ほたる祭り」や「地区花壇」など地域環境の整備に取り組んでいます。さらに一昨年度から小学6年生の心温まる標語づくりも実施しております。

学校と家庭そして地域がそれぞれの責任を自覚し、総力を挙げて青少年を育み、「表佐に生まれて良かった、表佐で学んで良かった、そして大きくなっても表佐で生活したい」という子どもをどんどん育てることが私達の願いです。

青少年の健全育成の基盤は、まちづくりセンターの横にも掲げられています「大人が変われば子どもも変わる」、やはり大人が鑑となります。子どもたちの範となつたうえで、激変していく環境に適応した支援をしていくことが大切かと思えます。「次世代を担う子どもたちを育む表佐まちづくり」の実現に一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

小学校6年生が作ってくれた標語が、小学校北のフェンスに設置してあります。



自分から 声かけて 友達づくりの 第一歩

令和2年度 表佐小6年

表佐太鼓 伝統を受け継ぐ 子ども達

令和2年度 表佐小6年

失敗しても大丈夫 まずは自分を信じて やってみよう

令和2年度 表佐小6年

ハリヨっ子

上に載せた6年生の標語には、今年ならではのものがいくつかありました▼「学校で みんなと会える うれしいな」は休校期間中の子ども達のつらさ、学級の友達と会えることの喜びや幸せが想像できます。また、選ばれませんでした。選ばれませんでした。「あいさつは マスクごしでも つたわるよ」「マスクをね しているからこそ かわそう 明るいあいさつ」というものもありました▼そして「じじとの散歩は体も心もぼっかばか」はいいなあと感じました。コロナ禍だからこそ、そう感じたのでしよう。この子のおじいさんがうらやましくいらいます▼私達が暮らしていく上で大切なことを、子ども達は見事に表現しています。周りの大人が教えているのかもしれないですが、まず大人が、人と会うこと、あいさつ、家族を大切にしなければいけませんね。

学校で みんなと会える うれしいな

令和2年度 表佐小6年

何事も 続ける事で 強くなる

令和2年度 表佐小6年

表佐小学校の人権の取組



みんなが気持ちよく過ごせる学校にするために、企画委員会が中心になり、言葉遣いやあいさつがよくなるように取組みました。集会当日は、司会進行を担当しました。



企画委員会の司会進行で、人権についてクイズで楽しく学びました。

ひびきあい 集会



各学級で人権について考え、取り組んだことを「ZOOM」を使ってリモート発表しました。

毎週金曜日に、仲間のすてきな姿やがんばる姿をミニレターに書いて認め合っています。



画面に映る各学級の発表を真剣に聞き、それぞれの学級の宝物を認め合いました。

かがやき 見つけ

表佐小学校の総合的な学習



6年生は、総合学習で福祉について学んでいます。高齢者福祉や障がい者福祉について調べたり、体験学習をしたりしています。障がい者福祉についての学習の一環として、「あゆみの家」にアルミ缶を寄付するために、回収活動を毎週火曜日に行っています。各家庭や地域の方のご協力をいただき、5000個以上のアルミ缶を集めることができました。

3年生は「表佐のことを知ろう」というテーマで学習しています。10月には阿弥陀寺で表佐の歴史について学びました。住職さんから、表佐の偉人や昔からの祭りや行事などについて教えていただきました。自分達が住んでいる地域についてくわしく知ることができ、「表佐のことをもっと知りたい」という願いをもつ子が多くなりました。郷土への愛情を深める学習を今後も積み重ねていきたいと考えています。



4年生は相川の河川敷へ見学に行きました。相川の流るの速さや環境、川の周りの様子を実際に見て確かめ、ポスターにまとめて交流しました。この学習を通して、地域の宝である相川やその周りの自然をこれからも大切にしたい、という思いが高まりました。



表佐野球少年団

今年度はコロナウイルス感染症防止の影響で公式戦や少年団イベントが中止になり、子供たちには気の毒な思いをさせてしまった年でしたが、その中で感染予防対策をしてできる限りの活動を行いました。

練習すら行えない時期もありました。そんな時は監督から励ましのメッセージをいただき、みんなと再び活動できるのを心待ちにしていたら、活動再開：イキイキしている姿を見て改めてみんな野球が好きであることを感じました。試合の時は今まで当たり前前にしていた陣や声を出しての応援は禁止とのことで声を出すのを我慢しての応援でしたが、みんなの思いが通じ今年度は垂井町では負けなしのチームとなりました。県大会出場という貴重な経験もさせていただきました。他チームのレベルの高さからまた新たな目標も生まれました。垂井町総合体育大会の2連覇も子供たちには喜ばしいことでありました。

最後に、今年度も少年団活動に応援、ご協力くださった方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。新チームは9人でギリギリの人数からのスタートです。まずは見に来てくださるだけでも大歓迎です。次年度も応援よろしく願います。



表佐剣道スポーツ少年団



キャプテン 衣斐悠人

新型コロナウイルスが広まり、ぼく達のけいこは例年より遅い7月7日から始まりました。けいこが始まって、コロナ対策で対面のけいこが出来

ず、今までのけいこ内容を見直さなくてはなりません。くわえて、感染対策のマスクやシールドを着けてのけいこは息苦しく、それに慣れるのに時間がかかりました。そういった大変な事や、試合やけいこが中止になるなど我慢の多い年でした。しかし逆に、マスクを着けてのけいこで体力がついたり、我慢する事で忍耐力がついたり、得る事もあったと感じています。



最後に、感謝を伝えたいです。僕が6年間剣道を続けられたのは、先生や家族、仲間を支えられたからです。特に先生方には、剣道を通して礼儀や続ける事の大切さを教えていただきました。

その事を今後の中学校生活でも生かしていきたいです。

